



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター



## 秋冬アイテム、ながく大切に使うためには？

秋も深まり、寒さが一層厳しくなってきました。雪の便りも、まもなくですね。事故や災害などのない、おだやかな冬であってほしいと願います。

秋冬のアイテムの中には、保管方法や手入れの仕方が悪いと風合いが変化したり、劣化が早まってしまうものも少なくありません。お気に入りをながく愛用できるよう、正しい方法を覚えて実践してみてください。

### 【ブーツの乾かし方】 ※革・スエード・ムートンなど



急な激しい雨や湿った雪、水たまりなどで、ブーツが濡れてしまうことがあります。そんな時には、乾いたタオルでやさしく水分をふき取り、風通しのよいところで自然に乾くのを待ちましょう。靴乾燥機を使う場合は、**革モード**や**低温モード**で乾かすようにしてください。急いで乾かそうとして、ドライヤーやヒーターの温風を当てるのは絶対にやめましょう。急激な乾燥は、革が硬化したりひび割れたりする原因になります。人間の皮膚と同じように、やさしく扱うことがポイントです。

### 【レインウェア・スノーウェアのお手入れ】

雪かきで使うレインウェアや、スキー・スノーボードウェアが濡れたときは、日光の当たらないところに干すようにしましょう。これらのウェア類には、水が内部に染み込まないよう生地裏面にポリウレタンコーティングが施されているものがほとんど。ポリウレタンはもともと経年変化しやすい素材なのですが、紫外線によって剥離やベタつきなどの劣化が早まっています。コーティングが剥離すると、濡れたときに内部にまで水が染み込むようになり、機能が低下することに。できるだけ長持ちさせるために、紫外線には特に注意が必要です。



### 【灯油ファンヒーター使用時の注意】

灯油ファンヒーターから排気されるガスが、衣類の変色・退色の原因に。ヒーターを使用している部屋で長期間衣類を保管すると、ガスが影響したところだけ部分的に変色・退色してしまうことがあります。部屋の中にあるクローゼットや押入れ・タンス内にも、開け閉めの時にガスが流れ込むことがあるため、注意が必要です。衣類を保管している場所でヒーターを使用するとき、十分な喚起をおこない排気ガスが留まらないようにしましょう。



## 冬の“もしも!”に備えよう



災害などに備え、おうちに防災グッズや備蓄食料を準備している方も多いですね。では、車の中はどうでしょうか？近年、冬になると突然の大雪や天候の急激な変化により車が立ち往生するなど、予測できない事態に巻き込まれることが増えています。車にも、もしもに備えて必要なものを積んでおくことで安心です。連絡手段や情報収集のために携帯電話やスマートフォンが欠かせません。**モバイルバッテリー**があると心強いですね。**ペットボトル飲料**や**カロリーの高い食料**、**携帯用トイレ**も積んでおきたいアイテムです。エンジンを切っても寒くないよう、**使い捨てカイロ**や**ひざ掛け**なども必須。我が家の車には、夏用の薄い羽毛布団を小さくたたんでクッションカバーに詰めたものを積んでいます。クッションとして使え、いざという時にはカバーを外して暖をとることができる優れもの。防災用品を買い足さなくても、手持ちのものを工夫して代用できることもたくさんありますね。みなさんもいいアイデアがあったら、ぜひ教えてください。情報を共有し、日頃からしっかり備えましょう。

季節に合わせて必要な備えを！



### 脱いだ服、どこへ？

これからの季節は汗をかくことも少ないため、着るたびにではなく、何度か着てから洗うものも多くなります。洗わずにあとでまた着るものをクローゼットやタンスに戻してしまうと、洗ってあるものと混ざり、わからなくなることも。そうならないために、**一時保管専用の場所**を決めておくことで安心ですね。



### 汚れない工夫を！

冬物のアウター類は着用期間が長く、また着用頻度も高いため汚れやすくなります。**撥水ガード加工**には、水や雪を弾くだけでなく汚れをつきにくくする、またはついても落ちやすくする効果も。汚れる前に“ガード”しておきましょう。

着用前の予防が大事



### 営業案内 (赤い日は休み)

11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

OPEN\*9:00-CLOSE\*19:00

※休みや営業時間は変更になることがあります